

第10回 聖籠中学校の部活動の在り方検討委員会 会議記録

1 期日：令和6年11月26日(火) 15:00～16:30

2 会場：聖籠町町民会館2・3会議室

3 委員：欠席なし

4 次第

(1) 開会のあいさつ(社会教育課長)

(2) 自己紹介(前回欠席 丹後聖籠中学校 校長)

(3) 報告(司会:委員長)

① 第9回以降の取組報告とくにへのはたらきかけについて

・令和6年度聖籠中学校の報告

今年度の状況と今後の方向性

・令和7年度地域スポーツクラブ活動体制事業の実施計画

国の事業計画応募について

② その他

・令和8年度以降の動き

(4) 閉会のあいさつ(社会教育課補佐)

5 説明事項

(1) 開会のあいさつ(社会教育課長)

(2) 自己紹介(聖籠中学校 丹後校長のあいさつ)

(3) 報告

① 第9回以降の取組報告とくにへのはたらきかけについて

説明 事務局

(説明以外の委員の意見)

委員 指導者予定表の見方を教えてほしい。今年度3回報告が上がっている。これはどう見たらよいのか。

事務局 事務局として、学校の教職員に対してアンケート調査を行ったものである。学校の教職員の希望としてこのように反映されているものである。この数字がそのまま今後の指導者になるかどうかは事務局ではわかっていないものである。

委員 色がついている部活動は流動的であり、色がついていない部活動はこの数字で決定ということではないのか。

事務局 それは違います。

本来ならば、スポネットせいろうがスポーツ関係を集約することになっている。その資料についてはまだ整っていません。事務局のほうで、学校職員の考えを聞いたものの集計だけである。

委員 色がついていないところはどのように理解するのか。

事務局 これまでに3回の聞き取りをしている。その中で指導者としてお願いしたいという人数が変化している部活動が色のついている部活動である。色がついていない部活動は、これまでの調査で考え方（指導者数）が変わっていないという意味である。

委員 スポネットせいろうが把握している内定者は、今現在どれくらいいるのだろうか。

委員 今現在内定者はいない。調査が進んでいないという現状である。こちらがつかんでいる情報としては、ソフトテニス男女で一人がいいということは聞いている。

委員 今後は、土日祝日に指導できる方をはっきりとさせたほうがよい。

事務局 それについては、スポネットせいろうにお願いしている。

国に対する補助金申請については、当初はこれまで通り、1部活2人平均で申請した。しかし、県からは最上限250万円であるという指導が入った。これを受け、お示しした書面通りの金額として提出した。

委員 大会などに出ていると、お金が足りない。今回特に中学校体育連盟の大会で全国大会に出場した。このようなことがあると特に足りないがどうかしてほしい。

事務局 中学校体育連盟の大会については、こちらが用意しているお金の外に町から補助が出るのではないかと考えている。この他の大会になると、保護者会を開催し自己負担をお願いしないといけないのではないかと考えている。

委員 スポーツ少年団では、中学生の部を作るということはないのか。

委員 スポネットせいろうとしては小・中・高とつながればよいと考える。しかし指導者の側からすると、そこがうまくつながっていかないところである。難しい点である。

委員 中学校教員の中には、平日の部活動を早く実施してほしいという意見が出ている。ただ教員には人事異動があるため、全職員の意見ということではない。

委員 資料の中のことだが、例えばサッカーは10月のデータからすれば一人となっている。一人しかいないからということなのか。

事務局 「一人しかいない」ともとれが、「一人なのでできる」とも取れると考える。しかし、アンケート上のことなのでわからない。社会教育課としては、教職員は人事異動があるので、できればそうでない職業の方がいいと考えている。

② その他

説明 事務局

（説明以外の委員の意見）

委員 中学校の軟式野球部だが、できるだけ早く平日も移行できるようにお

願いたい。

事務局 令和7年度の予算要求については、すでに出されている状況である。
そうすると令和8年度の予算要求に寄せられるかを今後検討したい。

委員 時間が経過すると、いろいろな問題が見えてくるので、そこも課題になってくる。

6 閉会のあいさつ（社会教育課長補佐）